

主要な検討課題

各検討項目に関する主要な課題について、これまでのところ、以下のとおり抽出。(今後の検討次第によって追加・変更があり得る)。

1 統合による機能強化・部隊等の在り方の検討

(1) 機動展開体制

前提となる事態、能力等に関する認識と評価の統一
機動展開能力を有する部隊の在り方
機動展開のための輸送能力

(2) 指揮統制・機能・基本部隊

指揮統制の在り方
○重点地域の防衛体制
各級司令部、基本部隊の在り方

(3) I S R

警戒監視態勢の在り方
○情報収集の在り方

(4) 防空態勢・高射部隊の体制

○防空態勢の在り方
高射部隊の在り方

(5) 統合通信・サイバー

○実効的な運用に必要なシステム・ネットワークの構築
○自衛隊全体として実効的・効率的な通信態勢の確保
○自衛隊全体としてのサイバー対処態勢の検証

(6) 事態演習・訓練・教育

○事態演習・訓練の在り方
各種運用ニーズに対応できる教育の在り方

(7) 統合輸送・統合衛生

○各種運用ニーズに対応できる統合輸送態勢の在り方
○各種事態に柔軟に対処できる衛生態勢・体制

2 横断的な資源配分の一元化・最適化の検討

(1) 諸計画訓令体系見直し

大綱・中期防の達成状況等を継続的に評価できる仕組み

- 諸計画体系等の整理
- 共通の評価基準

(2) 部隊能力可視化・評価

部隊の実情や現有能力の把握と情報共有

- 能力評価の在り方

(3) 情報通信事業管理

- 現状の課題整理・具体化
- 今後の指揮通信システムの整備方針
- 次期エックスバンド通信衛星事業の整備方針

(4) 研究開発事業管理

研究開発の着手や事業管理の在り方

- 評価基準の厳格化とコスト算定
- 事業目標の定義の在り方

(5) 後方業務効率化

- 業務従事区分の整理

駐屯地・基地業務の合理化・効率化の最適な方策の導出と問題点の整理等

- 後方任用制度との整合

(6) 予算・事業体系最適化

- 各年度の予算要求における重視事項・優先順位の考え方と明確化
- 横断的な視点で真に必要な機能・分野に効果的に予算を配分できる仕組み

3 人的基盤に関する制度改革の推進

(1) 人事管理制度、階級・年齢構成の見直し

- 補充・昇任管理の考え方の再整理と人員管理手法の検討
- 定員・現員管理に関する規則体系の再整理
- 規則原案の策定と試行

(2) 後方任用制度

- 自衛官の職務・職責の整理・分析と後方任用可能な配置の抽出
- 具体的な制度設計

(3) 早期退職制度

- 早期退職制度の対象・目的の整理

- 具体的な制度設計
- 公的部門への再就職の検討
- (4) 幹部曹士の活性化
 - 新大綱を踏まえたパッケージ施策（上級曹長階級の新設、幹部と曹士の別建て俸給表等）の再整理
 - 幹部の構成の在り方、編成上の職務・職責を再検討
- (5) 募集・援護の在り方
 - 募集・援護業務の実態把握と人員の規模の検討
 - 機構の合理化・改編についての検討オプションの整理

4 総合取得改革の推進

以下について、総合取得改革推進委員会（委員長：防衛大臣）において検討を行っているところ。

- (1) 国際環境変化への対応方策
 - 防衛装備品をめぐる国際的な環境変化に対応する方策
- (2) 防衛生産・技術基盤戦略
 - 安全保障政策等との整合性の整理
 - 分野別検討及び「強み」と「弱み」の把握
 - 「選択と集中」のための判断基準の策定
- (3) 契約制度等
 - 企業のコストダウンインセンティブを引き出す契約制度の改善
 - 長期継続契約に基づく装備品調達コストの低減
 - 集中調達の拡大
 - コスト・データベース等の構築
- (4) PBL
 - 防衛省版PBLガイドライン(仮称)の策定
 - PBLパイロット・モデルの実施
 - 契約面の課題等の整理

今後は、各ワーキング・グループで、これらの検討課題に関する各自衛隊の現状の把握や事例調査を行い、統合的な観点からの検証を加えて解決の方向性について議論しつつ、短期的課題と中長期的な課題に整理して検討を深化。

なお、統合衛生に関しては「衛生機能の強化に関する検討委員会」と連携しつつ検討。